グランドプロ CF-3 SP

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。
※雲台は本品に含まれておりませんので別途お取り付けのうえ
ご使用ください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

⃠ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

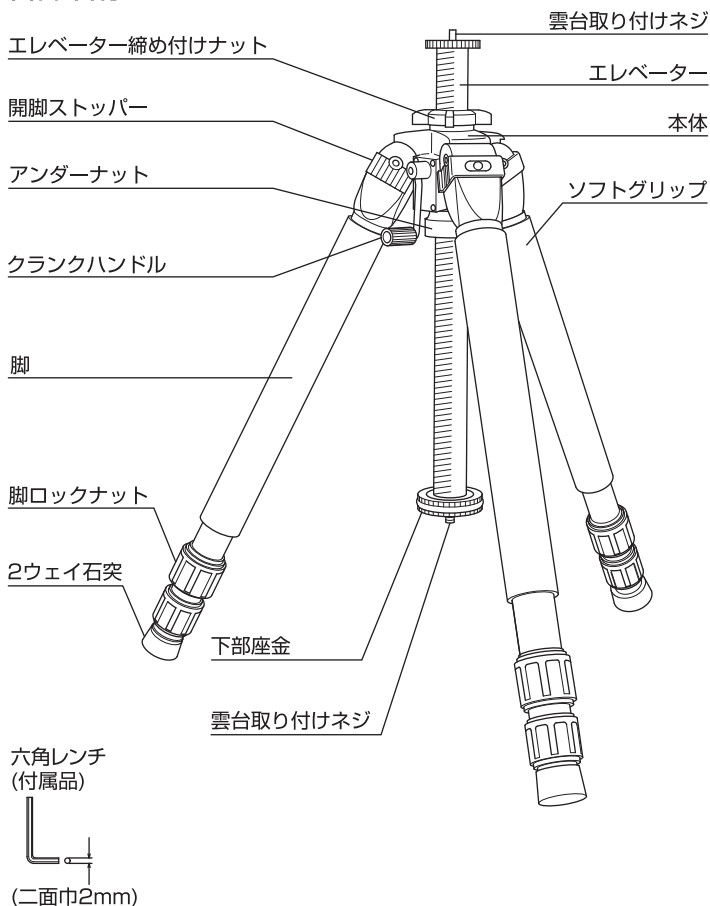
仕様

縮長	57 cm
全高	149.5 cm
EVスライド	28.5 cm
質量	2.85 kg

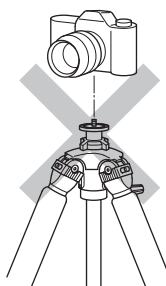
J607-1

各部名称

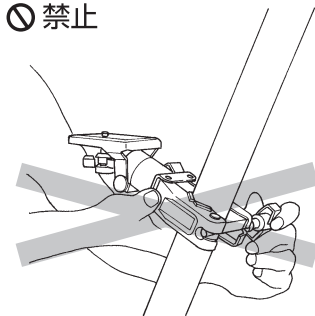
雲台取り付けネジ
エレベーター締め付けナット
エレベーター
開脚ストッパー
本体
アンダーナット
ソフトグリップ
クランクハンドル
脚
脚ロックナット
2ウェイ石突
下部座金
雲台取り付けネジ

六角レンチ
(付属品)
(二面巾2mm)

⚠ 注意
ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだら
アフターサービスをご利用ください。（無料修理保証の対象外です。）
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

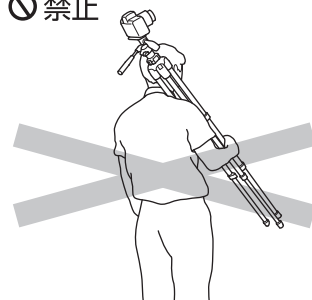
雲台取り付けネジ

⃠ 禁止

カメラを直接エレベーターに
取り付けることは故障の原因に
なります。雲台などを介して
お取り付けください。

クランプヘッド

⃠ 禁止

別売のクランプヘッドはカーボン三脚
に使用しないでください。
パイプが破損し危険です。

持ち運びのとき

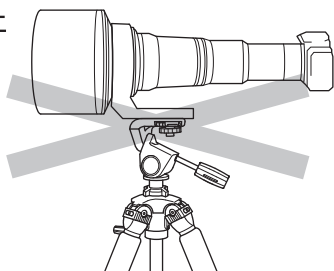
⃠ 禁止

三脚にカメラを取り付けたまま
移動すると思わぬ事故を起す
ことがあります。
カメラは三脚から外して運搬して
ください。

衝撃のあったとき

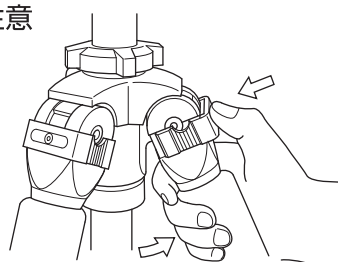
⚠ 注意

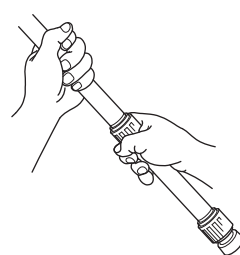
三脚が転倒するなど衝撃が加わった
場合は、パイプにひび割れが入って
いないか確認ください。
傷、割れ等が見つかった場合はただ
ちに使用を中止し修理を依頼してく
ださい。
カーボン繊維が出ている場合はケガ
をするおそれがあります。
直接ふれないようご注意ください。

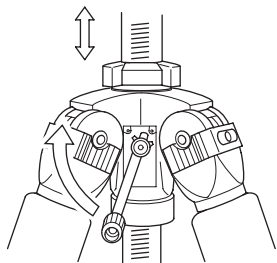
搭載する機材

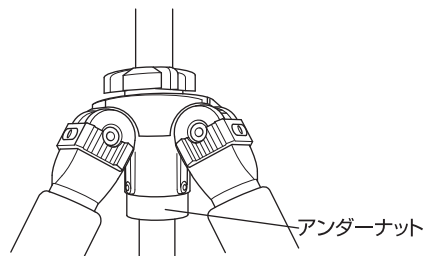
⃠ 禁止

この製品は、10kg位までの機材を載せるように
作られています。
これ以上の機材は載せないでください。
また、10kg以下のものであっても重心位置に
よりバランスの取りにくいものもあります。
そのような際は、十分気を付けて使用してください。

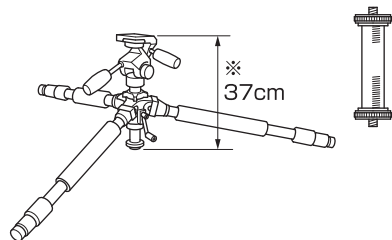
開脚角を変える

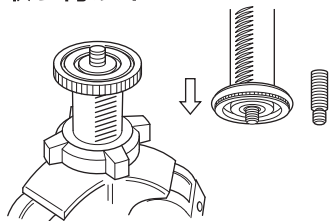
⚠ 注意

標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、
開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角
(ミドル、ロー、ポジション)がえらべます。
使用角度が決まったらストッパーをつきあてに
あたるよう確実にもどしてください。

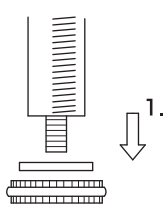
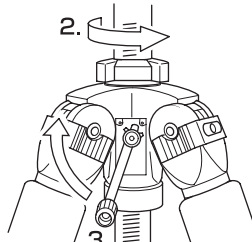
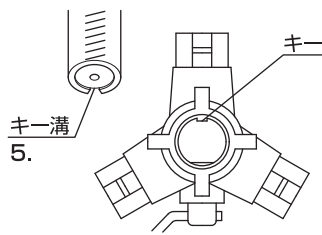
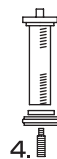
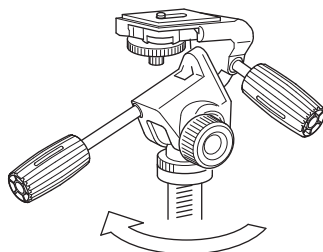
脚の伸縮

脚を伸ばすときは上の段から、脚を縮めるときは
下の段から行ってください。
操作するロックナットのすぐ上のパイプを
握ると確実です。

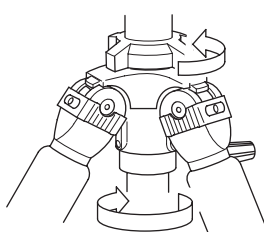
エレベーターの操作

クランクハンドルを操作してエレベーターを
上下します。エレベーター締め付けナットを
締め込むと、エレベーターの作動かたさを調節し
左右ガタを少なくすることができます。

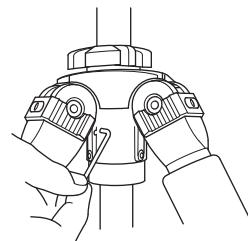
アンダーナット

締め付けナットをゆるめたときのエレベーター
上下かたさを変えたいときは
アンダーナットの締め具合でかたさを調整して
ください。

プロフェショナル㈼用雲台受 別売

フル開脚時にさらに低い地上高をご希望の場合は、
別売の雲台受をお求めください。
最低地上高37cmにできます。
※SH-909雲台使用時。

エレベーターの上、下の取り付けネジ

エレベーターの上の雲台取り付け
ネジは大ネジ(U3/8)の固定式。
下のネジは小ネジ(U1/4)と大ネジの
段つきネジです。
上下を反転し希望のネジでお使い
ください。

エレベーター、雲台受（別売）の交換方法

1. 下部座金をゆるめ、座金と輪ゴムをはずします。
2. 本体エレベーター締め付けナットとアンダーナットを3～4回転ゆるめます。
3. 雲台部を支えながらクランクハンドルを操作しエレベーターを上に抜き取ります。
4. 新しく交換する雲台受けの下部座金、輪ゴム、雲台取り付けネジを外します。
5. 本体部の中のキーとエレベーターの溝の方向を一致させます。
6. クランクを軽く回し、歯のかみ合いを確かめてから下まで降ろしていきます。

雲台（別売）の取り付け

雲台（アクセサリー）と三脚のネジを合わせます。
雲台を時計まわりに止まるまでまわします。
パンストッパーをきつく締めて、さらに時計方向
にねじこみます。パンストッパーをゆるめると
通常にパンニングできます。

本体キーの調整方法

エレベーターの左右のガタをなくしたいときは
本体キーの調整を行なってください。
※付属品の六角レンチを用意してください。

1. エレベーター締め付けナットとアンダーナットをゆるめてください。
2. 六角レンチを図示の穴にさし込み本体キーを締め付けてください。
3. クランクハンドルを操作しエレベーターの上下の動きを確認し、さらにパンハンドルを握りエレベーターの左右ガタを確認してください。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤を
  やわらかな布につけてふいてください。
  その後、きれいな乾いた布でふいて
  ください。
- 火に近づけないようにしてください。
  夏など高温になる車内などに長時間
  放置しないでください。

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を
変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービス

製品の修理に関してはお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナー
へご依頼ください。
本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

スリック株式会社
本社/〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー
〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19 Tel. 03-5982-1060